

Ⅲ-3-②エネルギーの安定供給に関する環境

諸外国とエネルギーの安定確保に係る環境を比較すると下表のとおりです。
 日本は国産資源が少ないためエネルギー自給率が低く、食料自給率38%の1/3程度しかありません。
 また、国際的なパイプラインや送電線による連携もないなど、正に孤立状態となっているのです。

～日本は、資源も、国際的なエネルギー連結もない～

弱み 強み

	日本	フランス	中国	インド	ドイツ	イギリス	スウェーデン	アメリカ
自給率(2021年)	13.3%	54%	80%	65%	35%	63%	76%	104%
【主な国産資源】	無し	原子力	石炭	石炭	石炭	石油・天然ガス		天然ガス・石油・石炭
設備利用率	(太陽光)	15%	14%	16%	18%	11%	11%	19%
	(風力)	25%	29%	25%	23%	30%	31%	37%
国際パイプライン	×	○	○	×	○	○	○	○
国際送電線	×	○	○	○	○	○	○	○

出典：エネルギー情勢懇談会提言資料 P32

日本のエネルギー2024/2 P1

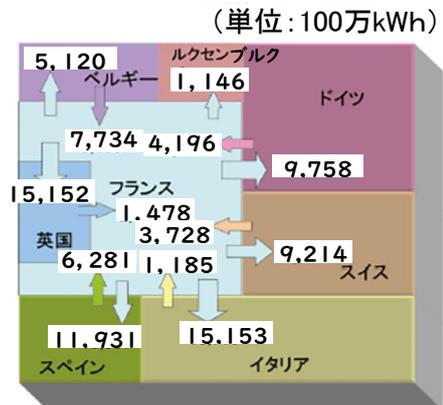
エネルギーの安定供給に関する環境

【参考】



出典：エネ百科

欧州のガスパイプライン網



出典：エネルギー白書2024 第223-1-8

フランスの電力輸出入

注)各地図等は、出典をクリックし、大きく印刷すると鮮明です。



出典：ENTSO-E(欧州電力系統運用者ネットワーク)

欧州の送電線網